

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2014-200753(P2014-200753A)

【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-79920(P2013-79920)

【国際特許分類】

B 0 1 D 21/24 (2006.01)

B 0 1 D 21/02 (2006.01)

B 0 1 D 21/06 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 21/24 D

B 0 1 D 21/02 N

B 0 1 D 21/06 A

B 0 1 D 21/24 Z

B 0 1 D 21/24 S

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月5日(2015.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

沈降分離を行う槽と、

前記槽内に直立状態で配設されており、被処理水が導入されるチャンバと、

前記チャンバ内の処理水を前記槽内に分配供給するディストリビュータと、を備える沈殿槽に設けられ、前記ディストリビュータを洗浄する洗浄構造であって、

前記槽内の前記処理水を洗浄液として前記ディストリビュータの内部に供給する洗浄液ラインと、

前記洗浄液ラインで供給された前記洗浄液によって前記ディストリビュータの内部を洗浄する洗浄部と、を備えるディストリビュータの洗浄構造。

【請求項 2】

上下方向において、前記槽内の前記処理水の水面側の第 1 の流出口と前記ディストリビュータとの間の位置から、前記槽内の前記処理水を取り出す取出部をさらに備え、

前記洗浄液ラインは、前記洗浄部と前記取出部とに接続され、

前記取出部は、前記槽の側面に設けられた第 2 の流出口によって構成されている、請求項 1 に記載のディストリビュータの洗浄構造。

【請求項 3】

上下方向において、前記槽内の前記処理水の水面側の第 1 の流出口と前記ディストリビュータとの間の位置から、前記槽内の前記処理水を取り出す取出部をさらに備え、

前記洗浄液ラインは、前記洗浄部と前記取出部とに接続され、

前記取出部は、前記槽内に配置されるポンプによって構成されている、請求項 1 に記載のディストリビュータの洗浄構造。

【請求項 4】

前記洗浄部は、前記ディストリビュータの内部に対し、前記取出部側へ向けて前記洗浄

液を供給する、請求項 2 又は 3 に記載のディストリビュータの洗浄構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係るディストリビュータの洗浄構造は、沈降分離を行う槽と、槽内に直立状態で配設されており、被処理水が導入されるチャンバと、チャンバ内の処理水を槽内に分配供給するディストリビュータと、を備える沈殿槽に設けられ、ディストリビュータを洗浄する洗浄構造であって、槽内の処理水を洗浄液としてディストリビュータの内部に供給する洗浄液ラインと、洗浄液ラインで供給された洗浄液によってディストリビュータの内部を洗浄する洗浄部と、を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るディストリビュータの洗浄構造は、槽内の処理水を洗浄液としてディストリビュータの内部に供給する洗浄液ラインと、洗浄液ラインで供給された洗浄液によってディストリビュータの内部を洗浄する洗浄部とを備えている。このように、槽内の処理水を洗浄液ラインで洗浄液として洗浄部へ供給することによって、槽内の処理水と洗浄液との間の温度差を低減することができるため、槽内での水流の乱れを更に低減することができる。以上によって、ディストリビュータの洗浄中における、処理性能を向上することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明に係るディストリビュータの洗浄構造において、上下方向において、槽内の処理水の水面側の第 1 の流出口とディストリビュータとの間の位置から、槽内の処理水を取り出す取出部をさらに備え、洗浄液ラインは、洗浄部と取出部とに接続され、取出部は、槽の側面に設けられた第 2 の流出口によって構成されていてよい。これによって、槽内の処理水を容易に取り出すことが可能となる。また、取出部は、上下方向において、処理水の水面側の第 1 の流出口とディストリビュータとの間の位置から、槽内の処理水を取り出すことによって、槽内で洗浄液による上昇流の増加を抑制することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明に係るディストリビュータの洗浄構造において、上下方向において、槽内の処理水の水面側の第 1 の流出口と前記ディストリビュータとの間の位置から、槽内の処理水を取り出す取出部をさらに備え、洗浄液ラインは、洗浄部と取出部とに接続され、取出部は、槽内に配置されるポンプによって構成されていてよい。これによって、ポンプの位置を変更することで容易に洗浄液の取り出し位置を変更することが可能となる。また、

取出部は、上下方向において、処理水の水面側の第 1 の流出口とディストリビュータとの間の位置から、槽内の処理水を取り出すことによって、槽内で洗浄液による上昇流の増加を抑制することができる。